

技術士第二次試験方法の改正に伴う本書の活用方法について

すでに読者のみなさまもご存じのとおり、平成 19 年度から技術士第二次試験方法が大幅に改正されました。

本書を含む以下の書籍

「受験経験者のための技術士第二次試験（建設・上下水道）経験論文対策」（平成 16 年 2 月初版）

「初めての技術士第二次試験（建設・上下水道）自学自習のポイント」（平成 17 年 2 月初版）

「受験経験者のための技術士第二次試験（建設・上下水道）専門記述対策」（平成 17 年 3 月初版）

「受験経験者のための技術士第二次試験（建設・上下水道）必須科目対策」（平成 17 年 3 月初版）

は、いずれも今回の改正前に発行されたものです。今回の改正内容のポイントと、それらに対する上記既刊書の活用方法は、それぞれ下記の別表のとおりとなっております。

なお、今回の試験方法改正の詳細につきましては、社団法人日本技術士会技術士試験センターに直接お問い合わせいただくか、同センターのホームページ

http://www.engineer.or.jp/examination_center/index.html

等により、どうか十分にご確認下さい。

著者 本田尚正 / 株式会社 コロナ社

| 試験の種類 | 平成 18 年度の試験内容 | 平成 19 年度の試験内容 | 本書の活用方法 |
|---------|--|--|--|
| 1. 経験論文 | 筆記試験において、試験時間 3 時間、解答文字数 3,600 字以内で、受験者の技術的体験に関する記述式試験を実施。 | 筆記試験から廃止。 なお、筆記試験合格者に対して、口頭試験前に解答文字数 3,000 字以内で技術的体験論文を口頭試験の一部として提出。 | 新たな技術的体験論文では、解答用紙の書式や解答文字数に変更が生じますが、本書によるテーマの選び方、論述構成、文章の書き方、図表の挿入方法などは、受験対策として十分ご活用いただけます。 |
| 2. 必須科目 | 筆記試験において、択一式と記述式の試験（600 字詰用紙 3 枚以内）を同時に実施。 | 択一式試験は廃止。 記述式試験は、問題の種類を「技術部門全般にわたる論理的考察力と課題解決能力」として、より明確化。 解答文字数は現行通り。 | 択一式試験は廃止されましたが、その出題範囲は「技術部門全般にわたる一般的専門知識」であり、新たな記述式試験で問われる「論理的考察力と課題解決能力」を下支えする基礎的知識として引き続き重要です。また、改正後の記述式試験自体にも、本書は十分ご活用いただけます。 |
| 3. 専門記述 | 筆記試験において、記述式試験（600 字詰用紙 6 枚以内）を実施。 | 問題の種類を「選択科目に関する専門知識と応用能力」として、より明確化。 解答文字数は現行通り。 | 筆記試験から経験論文が廃止されたことにより、新たな専門記述試験は重要度・難易度のアップが予想されます。それらの受験対策として、本書は十分ご活用いただけます。 |
| 4. 口頭試験 | 筆記試験合格者に対して実施。（試験時間は例年 30 分前後。） | 筆記試験合格者に対して原則 45 分実施。 なお、口頭試験前に解答文字数 3,000 字以内で技術的体験論文を口頭試験の一部として提出。 | 新たな技術的体験論文は、受験者にとって事前準備が十分可能であることから、それを基にした新たな口頭試験は重要度・難易度のアップが予想されます。それらの受験対策として、本書は十分ご活用いただけます。 |